

I C T使用状況報告書

令和6年10月9日

事業所種別	介護老人保健施設	
導入した機器等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合介護支援システム i-MEDIC Plus</li> <li>・専用Wi-Fiネットワーク構築</li> <li>・iPad、専用ノートパソコン</li> </ul>	
I C Tの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	有・無
「L I F E」の利用申請の有無		有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和5年3月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
I C T導入による効果	<p>館内全域に専用ネットワークを配備し、専用端末、ソフトウェアを導入し、利用者情報全てをソフトウェアにて集約することで医師をはじめとする全ての職種において情報の共有が可能となり紙カルテをみることなく、作業効率を上げる。介護サービス提供における記録（診察や投薬・処方、処置の指示、日々のケア、リハビリマネジメント評価）の一元化、サービス担当者介護等の開催案内や、入退所予定などの情報共有、LIFEのデータ提出、ケア実績からの報酬請求までを一貫して作業を行えることが期待される。</p> <p>介護支援システムの操作マニュアルを整備。新規採用した職員は各部署にてパソコン操作の説明。ソフトウェア会社との定期的な会議を通しシステム調整を実施している。個々のスキルの対応した指導、定期的な研修会開催を継続的に行う必要がある。</p>	
事業着手日	令和4年5月6日	
事業完了日	令和5年3月31日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

